

第111番組審議委員会議事録

日時：令和6年7月17日（水）13時30分～

場所：市民活動センター/コミュニティf（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数8名

2. 出席人数5名

3. 出席委員の氏名

吉野渉 委員長・赤池英明 副委員長・稲葉美津江 委員・青木洋一 委員・石田寛之 委員

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長

山本茂 放送局長

山本局長：本日はお集りいただき、ありがとうございます。今日は111回目の番組審議となります。皆様よろしくお願ひ致します。それでは今回より新たに番組審議委員長となりました、吉野委員長一言よろしくお願ひ致します。

吉野委員長：本日より委員長を仰せつかりました吉野です。これからうまく皆さんの意見を引き出せるように、色々とアドバイスを受けながら努めてまいります。本日はよろしくお願ひ致します。

山本局長：ありがとうございます。続いて弊社小沢からお願ひ致します。

小沢社長：本日もお忙しい中ありがとうございます。まず、佐野智弘さんから引き継がれた石田寛之さんをご紹介いたします。石田さん一言お願ひ致します。

石田委員：はじめまして。富士宮市商工会議所青年部で昨年会長をしておりました石田です。富士宮市で割烹旅館たちばなを経営しております。何も分からない状況ですが、是非ご指導をお願ひ致します。よろしくお願ひ致します。

小沢社長：それでは本日も忌憚のないご意見をお願ひ致します。

山本局長：それでは、前回審議をお願ひした「f-times」内の「美女と野獣のミュージックタイム」のご報告です。地元で活躍する演歌歌手の稲葉さんが中心となって放送している番組でした。内容として色々な進め方や、外からのレポートもありました。審議した議事録は弊社ホームページに掲載させていただきました。また、制作スタッフ一同考えながら番組作りをしてまいりたいと思います。

本日審議していただく番組ですが毎週水曜日のお昼に生放送をしております「Be Smile」です。これまで開局から関わってきた芹澤ゆみかさんが3月で卒業され、4月より「ほりえかおり」さんにバトンタッチしました。今回新たなナビゲーターとなりましたので、議題にあげさせていただきました。この番組はお昼の時間で主婦層をターゲットとして制作しており、3月までは「美と健康」をテーマにしておりましたが、4月からは「毎日を笑顔で過ごすための情報番組」とテーマを変え放送しております。ナビゲーターの「ほりえかおり」さんは、長年大阪でナレーターやラジオ番組で活躍されていて、現在富士市・富士宮市で活動しております。市民活動も

精力的に行っていて、富士宮市の母力向上委員会のメンバーや、笑いヨガの講師としても活躍しており、弊社としましても適任かと思い、4月よりナビゲーターをお願いしております。
それでは、お聴きください。

番組審議

- ・ 審議番組 Be Smile 水曜日 11:30～15:30 内
「オープニング」「ヒーリングマインド・リーディング」(9分程度)
- ・ 放送日時 令和6年6月26日 水曜日 11:30～
- ・ 出演 ほりえかおり 富士市中央図書館スタッフ
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

9分程

山本局長：以上になります。番組自体は4時間の生放送で、今回はオープニングのパートと図書館スタッフに本を紹介してもらう「ヒーリングマインド・リーディング」をお聴きいただきました。それでは吉野委員長ご審議をお願い致します。

吉野委員長：それでは始めさせていただきます。4時間の放送の内、9分間しか聴けていませんので、なかなか難しいとは思いますが、各々思ったことを意見していただけたらと思います。

まず、僕の方からお話ししていきます。最初のオープニングの部分でニュースやロゼシアターの情報など4時間の放送で何時何分に何を放送するのかを言ってもらえるのは分かりやすいと思いました。聴きたい事を何時にラジオに耳を傾ければ良いかがわかり良いですね。また、ロゼシアターの情報が気になりました。なぜかという、検索をしないと分からない情報をラジオでさりりと聴けるのは良い。健康と笑顔をキーワードにという話でしたが、本の紹介についても興味を惹かれました。僕には子供がいるんですが、今タブレットやスマホで動画を見がちで、毎日絵本を読み聞かせる時間を作っているんです。本を読むって良い事だと思っており、こういった本を紹介するコーナーっていいなど。しかも、図書館のスタッフさんが紹介してくれているというのはハズレがないなと思いましたし、そこから健康と笑顔に繋がる。聴きたくなる内容で、指摘する所は無いのかなと思います。皆さんはいかがですか？青木さんはどうでしょうか？

青木委員：Be Smileのナビゲーターは元気があって声も明るくて良いと思いました。ゴミステーションのエピソードは狭い町ですので「私の事を言っている？」と思われる人もいるので、それはイヤだなと思ってしまいました。東京の様に人口が多い所だと話しても差し支えがないとは思いますが、人口が少ない町でこういう話をするのであれば、配慮が必要かなと思いました。そして、ヒーリングマインド・リーディングですが、もう少し長くても良いと思いました。時間的に短く感じました。審議用に短くしましたか？

山本局長：今回聴いていただいたのが全てです。

青木委員：それでしたら、もうちょっと何か、1冊を紹介するのは良いんですが、「こんな新しいのが入りまし

たよ。」とか紹介している本のエピソードなどがあっても良いのではと思いました。というのも、富士市富士宮市に本屋さんが減ってきている。そうすると、物理的に本に触る機会が極端に減ってきています。Amazonで発注しないと来ないですね。この前久しぶりに図書館に行ってありがたみを感じました。今図書館が勝ちパターンにきているのかなと思うくらいに感じました。もうちょっとアピールする時間を長くしても良いのかなと思いました。本屋さんに行くと「これが今・・・」というポップがありますが、今日紹介した本には出合えないと思うんですよ。そういう意味では音・声で紹介してくれて、より想像を掻き立てられました。文字ではインパクトは無いが、音にするとインパクトがでて、音の良さがでると思います。そう考えたときちょっと短い。どんな内容なのかももう少し引き出しても良かったと考えています。多分図書館の人は色々準備していたんだと思うんですが、ナビゲーターが次の質問にいつってしまったような感じがします。

山本局長：ありがとうございます。

吉野委員長：それでは稲葉さんお願いします。

稲葉委員：ほりえさんの声のトーンが結構高いかなと思いました。ただ、耳障りな音ではなく、すごく入ってきやすい音だと思いました。そこに関西弁が語尾に入ってきて柔らかな印象で。カミカミで喋っていても、声とおしゃべりでフォローができていて、上手なんだろうなと思いました。カミカミも受け入れやすい所があったのかなと感じました。図書館のコーナーでは、青木さんが仰る通り、あと二つ三つ内容を言ってくれた方が良いと思いました。本を探すのにアドバイスを言ってくれた方が良い。目より耳から入る情報の方が面白さがあると感じました。1分でも30秒でも多く質問をして欲しかった。その位だったら1つ質問が出来たと思います。

吉野委員長：ありがとうございます。続いて赤池副委員長いかがですか？

赤池副委員長：オープニングの所で、身近な出来事については「ありえる事」かなと面白く聞かせて頂きました。ヒーリングマインド・リーディングは定期的にやっているんですか？

山本局長：はい。毎週富士・富士宮の図書館のスタッフさんが本を紹介していただいております。

赤池副委員長：今回の図書館のコーナーは「103歳名言だらけ なんちゃって」という本。内容や明言を1つ2つチョイスして紹介してくれれば借りたいと思います。全体的に非常に良く、コーナーとして短く感じました。聞き入ってしまいました。

稲葉委員：耳に入ってきやすい音ですね。

山本局長：ありがとうございます。

吉野委員長：ありがとうございました。それでは、石田さんお願いします。

石田委員：実は私、この放送をリアルタイムで聴いていたんです。オープニングの話なんですけど、私は笑っちゃいました。それから番組に引き付けられて聴けるようになったと感じています。内容としては、私は富士宮市に

住んでいるので、具体的に思う所は無いですけど、まあいいんじゃないかと思いました。笑いがあって。そして、皆さんが仰っていた通り、図書館の事についてですけど、リアルタイムで聴いていても短いと思いました。もうちょっと引き出せる事はないかな？って。例えばなんですけど、これから夏休みシーズンに入るし、秋の夜長に入って来る時に、やっぱり本に興味をもつ人が多いと思うんで、ちょっともったいない。皆さんも思う所なんだなと感じました。皆さんもお話になっていた通り聴きやすいなと思いました。

山本局長：ありがとうございます。

吉野委員長：皆さんの話をきいて、僕もちょっと思ったんですが、何冊か紹介するのであれば、天気予報の後など分散させればくどくないのかなと思いました。

稲葉委員：この方は関西で何をされていたんですか？

山本局長：詳しくは分かりませんが、関西でCMのナレーションやナレーターを主にされていたようです。アニメーションの声優などの声の仕事もされていたみたいですね。ご結婚で富士市にこられて、ラジオエフでもこれまでCMのナレーションをお願いしていました。そんな関係で以前よりナビゲーターをお願いした事もあるんですが、子育てやお仕事の都合でご縁が無かったんです。今回お互いのタイミングが良く、番組ナビゲーターとしてお願いした次第です。ブランクとしては20年近くあると思います。

稲葉委員：すごい慣れていますもんね。

山本局長：番組スタートの4月はすごく緊張されていました、徐々になれてきているのかなと思っております。

小沢社長：明るい話し方をされてますよね。

山本局長：明るいですし、市民活動的な事、外に向けて積極的に活動されている方、講師として笑いヨガを主宰したり、小学校でも行ったような話をしていました。地域の情報発信という意味では、適役だと思います。

稲葉委員：富士宮市の母力向上委員会のメンバーでもありますよね。

山本局長：結構有名ですよ。

石田委員：母力向上委員会ですか？事務所がうちの会社の近くなんですよ。活動していますよね。

小沢社長：ごみの話も明るく注意できる位ですから、言うべき事が言える、ハキハキした方なんですよ。

稲葉井委員：そこらへんが関西人なんですよ。この辺の人だとちょっと引いちゃいますよね。そこを声が出せるっていうのは関西の人なんだと思います。そして、結構噛んでいましたけど、それをものともせず話しているのは明るいんだと思います。

小沢社長：元気な方ですね。

青木委員：わざと囁んでいるのかと思いますよね。

稲葉委員：私もそう思いました。ただ、それを上手に回避しているのでさすが関西人だなと思います。時々西の言葉が入っているのでフワッと力が抜けて柔らかく感じます。

小沢社長：この番組はロゼシアターがスポンサーとなってロゼのスタッフさんが話に来るコーナーがありますが、どんな事をしていましたっけ？

山本局長：ロゼシアターのスタッフさんがきて、近々の催しの告知やチケット販売について話しています。開局当初からお世話になっているコーナーです。

吉野委員長：番組の趣旨とは違いますが、最初に関西弁に触れていた、やさしいイントネーションですが、ほりえさんが富士富士宮に来た時、どう感じたかを言ってもらえるとより良いですね。富士富士宮で放送している事を念頭にそこを話してもらえたらと思いまし。

小沢社長：地域によって方言ってありますよね。昔山梨にいたときに全然違いました。

稲葉委員：富士宮の方言は関西の人からすると分かりづらいみたいですね。言葉がキツイともいわれます。浜松は名古屋に近いイントネーションなんですよ。静岡県は東部・中部・西部・伊豆と分かれていると言われていますが、大きな川ごとに方言がうまれているような気がしていて、ただ単に4つに分けられないと思っています。昔の人達は大きな川は簡単に渡れないですよ。そういう意味で、影響力のある言葉が固まっていく。それが強くなって方言になるのかなと感じています。富士宮の方言は関西の人からすると、怖いという方がいるみたいですね。

青木委員：なんか怒られている。っていわれますね。

吉野委員長：なかなかラジオでは言えないかもしれませんね。

稲葉委員：関西では〇〇と言ってるけど、こっちに来てびっくりした。など、エリア外にあまり出ない人からすると「そうなの？」という話になる。違いや外から来た関西弁を話す人の特権だと思うので話してもらえると良いですね。

吉野委員長：それではそろそろよろしいでしょうか？今日はここまでにしましょう。

小沢社長：今日はありがとうございました。委員長もありがとうございました。

山本局長：ありがとうございました。

小沢社長：次回9月18日水曜日に番組審議委員会を開催いたします。
皆様よろしくお願ひ致します。

議事録の公表：令和6年8月1日 自社ホームページにて公表